



1 掘削技術専門学校では、島田邦明常務理事が、国内に掘削技術者が不足している現状を説明。「学校は1年という短い期間のため、卒業してもすぐに掘削ができるようになるものではありませんが、基本的なことを学ぶことによって、会社に入ってから現場教育を受け、早い段階で掘削ができるようになります」と話していました。2 生徒たちは菅前首相との会話の中で「この学校で学ぶ掘削技術を将来に生かせるよう頑張りたい」と話していました。3 掘削技術専門学校を訪問した後、神戸物産の木質バイオマス発電所を見学。4 東和食品ではエンペラーサーモンを試食。菅前首相は「おいしかったです」と感想を話しました。5 防災拠点施設である消防庁舎を視察。防災啓発用シミュレーション動画を鑑賞しました。消防庁舎は再生可能エネルギーである地中熱を利用したヒートポンプ冷暖房を整備しています。

## 一つの町でさまざまな対応をしていることはすばらしいし、力強い。



庶路こども園を訪問。「未来を担う子どもたちの将来に、大きな良い影響を与える教育が行われていると思いました」と菅前首相は感想を話していました。

## 菅前首相白糠町視察訪問



庶路こども園にて2列目の左から  
伊東良孝元農林水産副大臣、穂坂泰前環境大臣政務官、鈴木直道知事、菅義偉前首相、棚野町長、小泉進次郎元環境大臣

### 再生可能エネルギー導入 先進地の白糠町を視察

8月24日（水）、菅義偉前首相や小泉進次郎元環境大臣、伊東良孝元農林水産副大臣、穂坂泰前環境大臣政務官、鈴木直道知事が視察のため、白糠町を訪れました。

本町では、再生可能エネルギー発電や地下資源を発掘する人材の育成が行われており、また、ふるさと納税の受け入れ額も全国4位（町村では全国1位）に位置するなど、先進的な取り組みが行われていることから、視察先選ばれました。

視察では、今年4月に開校したジオパワー学園掘削技術専門学校や神戸物産バイオマス発電所、消防庁舎、東和食品、庶路学園、庶路こども園を訪問しました。

掘削技術専門学校では、島田邦明常務理事が、不足する技術者の育成に対応するため、同校を開校したと説明しました。

東和食品ではお礼の品として人気のエンペラーサーモンを試食。その後、小中一貫校の庶路

学園や幼保一元化の庶路こども園を訪れ、児童生徒と交流しました。

菅前首相は「再生可能エネルギーを国内で増産しなければならぬという中で、先行して進んでいるのがこの地域。ふるさと納税にもしっかりと取り組み、納税にもしっかりと取り組んでいるというところで視察させていただきました。掘削技術専門学校での人材育成は、これから間違いなく主流になってくるだろうと思いますし、バイオマス発電や太陽光発電など、一つの町でさまざまな対応をしていることは本当にすばらしいし、力強いと思いました。また、地域の中でふるさと納税が生かされており、私自身、総務大臣のときに制度を作った良かったと思つていました」と述べました。

鈴木知事は「白糠町のすばらしい取り組みを見ていただいて、ゼロカーボン北海道の実現の可能性を大いに感じていただけたことがとてもうれしい。北海道の大量な電力を本州へ送る海底送電ケーブルの2030年運転開始を目標に総力をあげてやっていきたい」と話しました。